

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 3 区分
【発行日】令和 2 年 2 月 13 日 (2020.2.13)

【公開番号】特開 2018-122395 (P2018-122395A)
【公開日】平成 30 年 8 月 9 日 (2018.8.9)
【年通号数】公開・登録公報 2018-030
【出願番号】特願 2017-16225 (P2017-16225)
【国際特許分類】

B 2 4 B 9/14 (2006.01)

【F I】

B 2 4 B	9/14	A
B 2 4 B	9/14	E

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 24 日 (2019.12.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

眼鏡レンズ加工装置であって、
レンズを鏡面加工する鏡面加工具と、
前記眼鏡レンズ加工装置の制御を司る制御部と、
を備え、
前記制御部は、
眼鏡フレームのリムに前記レンズを嵌めるためのヤゲンを含む前記レンズのコバ部のうち、前記リムに接触する接触領域に前記鏡面加工具によって鏡面加工を行うことを特徴とする眼鏡レンズ加工装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の眼鏡レンズ加工装置であって、
前記制御部は、
前記コバ部のうち前記リムに接触しない非接触領域を不透明とすることを特徴とする眼鏡レンズ加工装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の眼鏡レンズ加工装置であって、
前記制御部は、
前記レンズが嵌められる前記眼鏡フレーム、および、前記レンズの前記コバ部の少なくともいずれかの情報を取得し、
取得した情報に応じて、前記コバ部において鏡面加工を行う鏡面加工領域を設定することを特徴とする眼鏡レンズ加工装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の眼鏡レンズ加工装置であって、
前記制御部は、
前記レンズが嵌められる前記眼鏡フレームの種類の情報を取得し、
取得した前記眼鏡フレームの種類の情報に応じて前記鏡面加工領域を設定することを特徴とする眼鏡レンズ加工装置。

【請求項 5】

レンズを鏡面加工する鏡面加工具を備えた眼鏡レンズ加工装置で実行される加工制御プログラムであって、

前記眼鏡レンズ加工装置の制御部によって実行されることで、

眼鏡フレームのリムに前記レンズを嵌めるためのヤゲンを含む前記レンズのコバ部のうち、前記リムに接触する接触領域に前記鏡面加工具によって鏡面加工を行う加工ステップを前記眼鏡レンズ加工装置に実行させることを特徴とする加工制御プログラム。

—